

大和成和病院 院長の記事が 読売新聞に掲載されました

余斤

神奈川 地域 22

2021.2.21

弁膜症 人工弁や形成術

病院の 実力

～神奈川編 153

心臓病

今回は心臓病を取り上げる。一覽表には、2019年に行われた治療実績を掲載した。

病院の実力「心臓病」
医療機関別2019年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	冠動脈バイパス手術 (人)	心臓カテーテル治療 (人)	弁膜症手術 (人)	胸部大動脈瘤手術 (人)
川崎幸	77	667	152	578
大和成和	95	464	154	69
湘南鎌倉総合	18	1064	96	198
東海大	42	389	89	162
横浜市大市民総合医療セ	51	—	67	88
昭和大横浜市北部	63	529	103	31
北里大	31	346	90	56
聖マリアンナ医大	40	365	54	71
横浜市立みなと赤十字	40	328	61	63
済生会横浜市東部	24	894	79	53
平塚市民	27	142	29	58
横須賀共済	7	1162	45	43
相模原協同	11	550	49	29
海老名総合	20	523	36	27
横浜市大病院	5	212	44	26
聖マリアンナ大横浜市西部	34	270	28	9
新百合ヶ丘総合	12	301	29	18
藤沢市民	11	—	22	18
平塚共済	18	298	20	6
小田原循環器	13	222	20	4
総合新川橋	0	345	0	0
川崎市立多摩	0	282	0	0
山近記念総合	0	226	0	0
総合高津中央	0	205	0	0
厚木市立	0	164	0	0
帝京大満口	0	126	0	0
戸塚共立第2	0	93	0	0

「セ」はセンター、「一」は無回答または不明

心臓に酸素や栄養分を供給する冠動脈が、動脈硬化の進行によって狭まった状態が狭心症。詰まった状態が心筋梗塞だ。

冠動脈バイパス手術は、これらの病態に対して行われる。血流が阻くなった部分を迂回するように、別の部位から採取した血管を縫い付け、新たな通り道を作る。

心臓カテーテル治療は、手首や足の付け根から血管内にカテーテル(細い管)を挿入し、ステント(金網状の筒)などを使って狭くなった血管を広げる。胸を切開する手術に比べ、体へ

超音波検査 積極的に

大和成和病院 倉田篤院長



心筋梗塞や狭心症の主な治療法はカテーテル治療だが、治療が困難な患者や、糖尿病などに

の負担が少ないが、部位によって適さない場合もある。心臓弁膜症は、血液の逆流を

防ぐ心臓弁の動きが弱くなる病態。進行した場合に弁の機能を改善させる手術をする。手術には、人工弁に取り換える「弁置換術」と、傷んだ弁を縫い合わせるなどして形を整える「弁形成術」の二つがある。

全身に血液を送る大動脈がこぶ状に膨らむ病態。破裂すると命に関わるため、その部分を人工血管に置き換える手術が行われる。手術件数には、カテーテルを使ってステントグラフトという筒状の器具を挿入し血管を内側から補強する治療も含まれた。

心臓弁膜症の多くは、心臓の入り口の「僧帽弁」と出口の「大動脈弁」の二つの逆流防止弁が異常をきたす。

大動脈弁が、加齢や動脈硬化による石灰化で開きづらくなる

僧帽弁が閉かなくなったり、ゆるみやズレで逆流を起こしたりすると肺の機能が損なわれ心不全を起す。息切れや全身のだるさを感じた際には疑った方がいい。閉鎖不全症の多くは形成手術で修復できるが、重症になると薬物療法やペースメーカー、弁置換術などを組み合わせて治療する。

全国的調査結果は17日の「安心設計面」に掲載しました。